

けいひん

第 19 号
発行日
2014年 9 月
職場新聞
編集委員会

今月 9 月 8 日、熱延設備の青年労働者が出社しないため、寮長に部屋を確認してもらったところ、「すでに亡くなっていた」という何とも痛ましいでき事がありました。

死因は「くも膜下出血」だそうで、まだ 30 才という若さでした。心からご冥福をお祈り致します。

熱延の職場ではこのところトラブル続きで、設備保全マンの残業は、平均 70 時間を超えていたとすることで、多い人は 100 時間を超えていた人もいたらしいのです。JFEウイングでは、8 月度の

中央安全衛生委員会・議事録で、60 時間〜80 時間を超えた「過重労働者」が 158 名もいたことが報告されています。

京浜地区ですすむ

「ブラック企業」化

残業は職場によって極端に違いがあります。

ある職場では、ほとんど残業がない一方で、「残業のある職場ならどこでも良いから『配転』してくれ」との話があつたそうです。

一方では身も心もズタズタになるほど働かされる長時間・過密労働。他方では生活できない



いから残業を願ひ出る労働者。低賃金ゆえの「残業頼み」の生活とは言え、極端です。

長時間労働による「過労死」やサービス残業、パワハラが横行する職場は、典型的な「ブラック企業」です。

7 月の暑いさなか、トラブルが続いたからといって 70 時間以上も残業させるなど、京浜地区は「ブラック企業」化したといわれでも仕方がありません。

新日鉄住金名古屋

5度目の黒炎！

9月3日午後0時30分頃、愛知県東海市の新日鉄住金名古屋製鉄所第一コークス炉近くの石炭貯蔵施設で爆発があり、社員11人と関連会社の4人の合計15人がやけどを負い、うち5人は気道熱傷の疑いがある重傷を負いました。同製鉄所では今年に入り、コークス炉から黒煙を出す事故が4回あったが、負傷者が出たのは初めてでした。

会社の説明によると、石炭塔内の貯蔵槽にあった石炭の一部は3日間保管された状態であり、通常は一日以内で炉に移されるが、炉に入れる前に加工する施設が点検中で使えず、取り置かれていた。午前10時35分頃、石炭塔内の温度上昇に気づき、しばらくして煙を

確認した。その後、従業員が石炭を蒸し焼きにするコークス炉に移すために、炉につながる下部の扉を開けたとき、急激に入り込んできた空気中の酸素と石炭ガスが反応して爆発したとのこと。

爆発で石炭を炉に運ぶベルトコンベアーに火が燃え移り、延焼が拡大し、出火から15時間が経過して鎮火しました。

石炭の水分値は、京浜のコークス炉では通常10%前後ですが、名古屋では2〜3%でかなり乾いた石炭を使用しています。

京浜のコークス工場でも大きな話題となり、コピーした「中日新聞」がみんなに渡され、食い入るように読んでいました。その中には、「何故最初に発見したときに水をかけて消火しなかったのか」「扉を開けて一気に空気に触れさすなんて考えられない」などの声が出されていました。

いずれにしても、事故原因を会社が責任をもって明らかにすることが必要です。

また、怪我をされた従業員のみなさんの一日も早い回復を願うばかりです。

「原料西道路」の水たまり 早く直して！

職場新聞7月号にも書きましたが、東西2号線から製鉄事務所に向かう原料西道路は、雨が降ると水たまりがなかなか解消せず、多くの人が困っています。さらに交通量が多いので事故の原因にもなりかねません。

特に、焼結工場とケミカル工場の間は、地盤沈下もひどく、何日間も水が引かない日が続いています。

早急に対策を講じて事故が起きる前に補修して欲しいものです。

70歳まで働ける

2009年に65歳までの就労にJFEはなりました。それにともない、下請けも65歳で雇い止めになりました。が、ここにきて、下請けは70歳まで働けるようになったとのこと。

話を聞くと、人手不足、特に指導者不足とのことでした。

若い人が入ってくるのだが、長くは勤めずに辞めてしまう。

きつい、汚い、危険、熱い、そのうえ給料が安い。

「アルバイトでレジを打っている時とほぼ同じ賃金では」とのことでした。

最近、熱延、厚板で大きな故障があつて、メーカー修理となつたが、依頼したメーカー側でその修理、製作を担当するベテランが不

在で、うまく仕事が進まなかったとの話だった。

どこの会社もベテラン不足なのか？

日本中の会社が人減らし「合理化」をすすめたので、現役労働者、ベテランが不足。

日本のモノづくりはどうなってしまうのだろうか。

職場新聞を読んで

八月号で、「猛暑のなか、毎日12時間勤務」の記事がありました。熱くて大変な仕事で12時間も働き続けられ、体の疲れも相当なものだろうな—と思います。

こうした働き方をすれば□命を縮める□のではないのか、定年後の体調も心配になります。

「会社が儲からなければ賃上げはできない」と言いつつ、働く者

の命を削ったもうけを内部留保に



しこたまため込んでいます。そして、国際競争力をつけ、強くなるのだと。その資金を元に、海外投資を拡大し、もっと強くなるうとしていきます。しかしこの頃、海外生産が増大し、円安にしても輸出が増えない。国内の鉄鋼価格値下げが叫ばれています。

こんな事のくりかえしでは、やがて職場がなくなってしまうのではないかと危惧せざるを得ません。儲けを内部留保に回すのではなく、労働者の賃金にまわす。海外投資を減らし、国内投資に方向を切り替える。など、労働者が働きやすい職場にしてこそ、会社は繁栄するのではないのでしょうか。

15年度採用者は、
600～700名
まだまだ足りない

2015年度のグループⅡの採用数は、今後の退職者数の動向を考慮し、600～700名。その中で、150名以上の中途採用を目指す。引き続き女性社員の採用を積極的に行い、新卒採用者数の10%を目標に採用活動を進める、としています。

JFEでは、無理な人減らし合理化・団塊の世代の大量退職等で技能継承問題が差し迫った課題とされている中、当然のこと、まだまだ足りないというのが職場の実感ではないでしょうか。



厚板のロールシヨップでは、人手不足で、シニアパートナーがサブリダーをやらなければならぬという組もあるほどです。

組合掲示板は選挙本番

組合掲示板に9月18日付の「けいゆうタイムス」の川崎・横浜市の組合組織内候補予定者の写真入りポスターが貼り出されました。バス停、工場内はもちろん、扇島トンネルの扇島行き道路の脇の組合会館の敷地フェンスにもポスターが貼られています。一日、数千台の車が通行するのでポスターを貼るには一等地です。まさに、組合掲示板は選挙本番です。

これから、組合員が最も嫌がる「組合ぐるみ」選挙が始まると思うと、気分のすぐれない人もいます。

選挙は国民の主権の行使です。政策を見て自主的に判断して、主権を行使しましょう。

安全の優良認定を受けるために

ウイング溶接管工場では、安全の優良認定を受けるためのパトロールが9月下旬に予定されています。管理工場、ウイング溶接管共により神経を使っています。

きれいな工場の中を見せたいと、毎日少しずつ残業をし、調休日を稼働させ、清掃日を作ったり生産調整をして、工場のすみずみまで掃除し、ペンキ塗りを予定しています。

パトロールを行った後、せっかく苦労して掃除しても「現場を見ている時間はあっという間に終わってしまう」と話されています。

「集団的自衛権」を許すな 京浜労組に申し入れ

9月17日、組合員有志（6名）で、京浜労組新執行部に、安倍・自公政権の集団的自衛権行使容認の「閣議決定」に対し、断固反対し、撤回を求めることを申し入れました。

職場では、「集団的自衛権」や「閣議決定」について「よく分らない」という声もありますが、「戦争はダメだ」という声は圧倒的多数です。

この申し入れは、京浜労組が日本の平和と安全を守る立場をいっそう明確にして、「海外で戦争する国」づくりを許すな、解釈改憲で憲法を壊すな、この一点で、組合員の声を一つに集め、安倍政権の「集団的自衛権行使容認」の

「閣議決定」に対し断固反対し、撤回を求める運動の先頭に立つことを求めたものです。

組合の回答は・・・

○ 申し入れがあるということと事前に連合と民主党の見解を調べてみました。連合の事務局長談話『民主主義に対する暴挙であり、政権が恣意的に変更することは立憲主義に違反し、認められない。国民不在の論議の進め方に強く抗議する』と民主党の見解はほぼ同じです。基本的には連合の見解と同じような流れになると思いますが？

○ 新執行部で「集団的自衛権」について論議したことはありません。

○ 申し入れの趣旨はわかりました。今後、新たな動きがある時には、再度申し入れに来ることを伝える

と、「了解しました」との答えでした。

職場新聞の効果か

シニアパートナーの採用手続きは、中央ビルに呼び出されて行われていました。□会社の帰りにはわざわざ中央ビルによって行くのは大変だ□と労働者からは不満の声が出され、職場新聞でも取り上げました。

今回からは、工場事務所に人事担当者が来て、時間内に手続するようになりました。

「工場まで来てくれるようになったんだね。今までは中央ビルに呼び出されて大変だったんだよ」

「えっ、中央ビルまで来てたんですか？ それは大変ですよー。工場事務所まで来るのだから、大変なのに！」

冷延タンデム等 休止検討へ

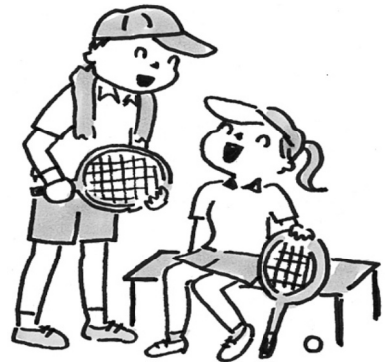
JFEスチールの2015年4月からの第5中期経営計画のなかで、16年6月を目途に冷延工場のPL・TCM（酸洗タンデム圧延）と3CGL（溶融亜鉛メッキライン）の休止を検討していることが、8月末に冷延部長から説明がありました。

あくまで検討段階で決定ではないとしています。

その理由として、この間の円高で自動車メーカーが海外進出し、JFEも自動車鋼板の素材となるCGLの生産ラインを中国に2ライン、タイに1ラインをすでに稼働中で、さらに16年3月にはインドネシアの工場が稼働予定であるため、現地で供給できる体制にな

ること
をあげ
ていま
す。

この
2つの
職場だ
けでも
43名が



働いており、また関連する保全関係や圧延ロールの研磨、組立を行うJFEウイングの人たちも大きな影響を受けます。さらに分社化された、2CGLと4CGLも休止を検討している事が明らかになり、100人を超える大きな合理化となります。

会社はこれまで、休止を決定してから組合に提案して説明してきました。今回検討段階で公表するやり方は労使の関係からも、おかしいのではないでしょうか。

熱延工場の駐車場が コイル置き場に

「熱延工場のスケールピット横の駐車場は、コイル置き場になりますので、今日の夜勤から使えません。グラントの一部に新設したのでそちらの駐車場に置いてください」

何という唐突なことか。

出勤してきたら駐車場がない！、どこに置こうかとウロウロする人もいたようです。

あたらしい駐車場は、グラントに鉄板を敷いていて、ぬかるみにもならず、スペースにも余裕があり、使いやすいのですが、困ったことに夜間は暗い、雨降りには靴の上までの水溜りができることです。

早急に改善してほしいものです。

低すぎる最低賃金

日本国憲法第25条には、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあります。そのためには、ある程度のお金が必要で

「最低賃金」とは、労働者に人間らしい生活を保障するために、賃金の最低額を定め、それ以上の賃金の支払いを使用者に強制する国の制度＝法制です。その目的の実現には、最低賃金を全国一律にすることが大切です。しかし、日本はそうなっており、地域をA、B、C、Dの4ランクに分けて、目安を決めています。

7月に、中央最低賃金審議会は「改定目安」を提示しました。「目安」は全国平均で「時間当たり16円の引き上げ」（率で2・1



%)です。これでは消費税増税などによる物価上昇を大きく下回り、実質的には最低賃金の大幅引き下げです。月額に換算すると、それが「生活できない賃金」であることがよりはつきりします。

1日8時間で20日働いても10万8千円（最低の沖縄）、最高の東京でも14万2千円です。

「生活保護並の最低賃金」も問題ですが、もともと低い生活保護費が昨年から来年にかけ総額740億円（平均6・5%、最大10%）も削減されます。最低賃金と生活保護双方の大幅引き上げこそ待たなしの課題です。

黒い足跡

厚板のロッカー室での話です。風呂からあがってくると、「足の裏、真黒じゃない？」と声をかけられました。

足の裏を見ましたが、異状なし。「どうしたの？」と聞くと「この前、母ちゃんが、シーツを新しいのに交換したんだけど、その上に乗ったら黒い足跡がベタベタついて、母ちゃんに怒られたよ。風呂場の床は汚いから注意した方がいいよ」との事でした。

風呂に入った後は、「足の裏よし」と、指差し呼称で確認する必要があるようです。



第2次安倍改造内閣は 改憲・タカ派

憲法9条改正による「戦後レジーム（制度。政治体制）からの脱却」を唱える安倍首相は、内閣改造で閣僚19人のうち15人を日本の侵略戦争を正当化する「日本会議国会議員懇談会」所属の議員で固め、まさに超タカ派・改憲勢力が政権中枢を占めました。第1次内閣では、「戦争できる国」へ憲法9条改正に向け、改憲発議を容易にする96条を変えようとしてきましたが難しいとなるや集团的自衛権行使容認を閣議決定しました。

自民党役員でも、谷垣幹事長が顧問、稲田政調会長が政策審議会副会長を務め、また茂木選対委員長もメンバーです。

日本会議は、地方議会で「憲法



改正の早期実現」を求める意見書を採択させる先頭にたち、また、男女共同参画や夫婦別姓に反対し、「夫婦別姓」に反対する集会には、高市、山谷、有村、稲田氏らが参加し、意見表明しています。中国や韓国と話し合いを持つとしない首相は、今回の改憲勢力の配置からみても、ますます関係改善の道を遠くしています。

今年2月に米議会調査局は、安倍内閣が憲法破壊と歴史修正を強引に推し進める根源に、この極右グループの存在があり「安倍氏は、戦時中の行為について、日本は不

当な批判を受けていると議論するグループと連携」し、安倍政権の歴史修正の動きの背景に、日本会議の存在があるとなりました。

日本会議国会議員懇談会

1970年代から改憲や元号法制化、夫婦別姓反対の運動を進めていた右翼改憲団体を再編・総結集し、97年に発足したのが「日本会議」です。

「日本会議国会議員懇談会」は、「日本会議」発足の動きに呼応して同年5月に発足。日本の侵略戦争は「アジア解放」の「正義の戦争」だったと美化する「靖国」派の歴史観に立ち、「自主憲法制定」、天皇元首化のほか、国民に「国防の義務」を課すべきだなどの主張を展開してきました。

自民党のほか、民主党、日本維新の会、次世代の党、みんなの党などの国会議員が加盟。2013年2月現在、231人の国会議員が加盟しています。